

令和 7 年

第 8 回岩沼市教育委員会（定例会）

会議録

1. 招集日時 令和 7 年 8 月 2 1 日（木）午後 1 時 3 0 分
2. 招集場所 岩沼市役所 6 階 研修室 A
3. 出席委員 及川浩市・南舘公雄・山田芳弘・木村紀子
4. 欠席委員 江里美穂子
5. 説明のために出席した者

教育部長兼市民図書館長事務取扱	遠藤 大輔
参事兼学校教育課長	一丸 孝博
生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長	渡辺 里美
6. 傍聴者 1 名
7. 本委員会の書記

学校教育課課長補佐兼教育総務係長	山下 真理子
------------------	--------
8. 開会 午後 1 時 3 0 分
9. 閉会 午後 2 時 2 0 分
10. 会議録署名委員
南舘公雄・山田芳弘
11. 会議録の承認
承認（令和 7 年 7 月 2 4 日定例会）

及川教育長

令和7年第8回岩沼市教育委員会定例会を開会いたします。

最初に、会議録の承認でございます。令和7年7月24日第7回定例会の会議録について、訂正箇所等がありましたらお願いします。

各委員

訂正はありません。

及川教育長

それでは、このとおり保管させていただきます。

今回の会議録署名委員は、南館委員と山田委員にお願いいたします。

事務局から事務報告をお願いします。

遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

それでは、私から3点御報告申し上げます。

まず、1点目は令和7年第3回市議会定例会の関係についてご報告いたします。予定では9月2日火曜日から24日水曜日までの会期で開催される見込みです。提出議案は18件を予定しており、さらに追加提案3件を見込んでおります。内訳といたしましては、今回は決算議会になりますので、令和6年度一般会計歳入歳出決算など認定案件が8件、条例案件が2件、人事案件1件（人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて）、補正予算案件6件、その他案件1件（令和6年度朝日竹の里線道路改良工事の工事請負変更契約）であります。追加提案といたしましては、ハナトピア岩沼リニューアル施設の設置及び管理に関する条例など3件を予定しています。

また、市政報告のうち教育委員会関連では「スクールボランティアについて」及び「休日の部活動の段階的な地域展開について」の2件を報告いたします。

その他の報告事項としては「岩沼市債権管理条例に基づく債権の放棄」として、市民会館使用料の不納欠損について、本日の議題としております「岩沼市教育委員会点検・評価報告書」の2件を議会に提出させていただく予定です。

次に、2点目といたしまして、お手元のチラシのとおり「岩沼市市民懇談会」の開催について御案内いたします。これまで町内会長を対象とした懇談会は開催してきましたが、市民全体を対象とするものは現市長になってから初めての取組になります。開催は10月に市内3会場で予定しております。多くの市民に御参加いただければと考えておりますので、ぜひ、身近な方々にもお声がけをお願いいたします。

3点目として、令和8年度使用教科用図書の採択に関する追加承認の報告でございます。この件については、先月の定例会において承認決議をいただいておりますが、その後、教科用図書採択協議会会長より、教科書目録に不備があったとの連絡がありました。不備の内容は、承認の対象とすべき教科書のうち、2冊が目録に記載されていなかったというものです。具体的には「社会（☆☆☆☆）」「社会（☆☆☆☆☆☆）」の2点です。これらは本市で希望を出した内容に関わりがなく、承認内容に影響を及ぼすものでないこと、また、8月18日までの対応が求められていたため、教育長の専決処分により対応いたしました。この点につきまして、御了解を賜りたく存じます。

一丸参事兼学校教育課長

学校教育課から5点御報告いたします。

1点目、7月28日と29日に、次年度就学予定児童の保護者を対象とした就学相談会を実施し

ました。対象は22家庭であり、保護者との合意形成を円滑に進めることができました。今後は就学指導審議会に諮る予定です。引き続き、適切な就学に向けて対応してまいります。

2点目、7月30日から31日にかけて、蔵王自然の家において、初任層教員を対象とした「いわキャン」を開催しました。本事業は、コロナ禍前に実施していた「志高研修会」をリニューアルしたもので、今年で3回目となります。共同活動や悩みの共有を通して参加者間の絆が深まり、表情や様子にも良い変化が見られました。なお、7月24日には事前研修を行い、その際、認知症サポーター養成研修を併せて実施しました。これは、今年2月議会で「教職員の認知症理解促進が必要」という御提案を受けて実施したものです。こちらも有意義な研修であったと聞いております。

3点目です。7月30日に発生したカムチャツカ半島沖地震に伴い、津波警報が発表されました。その影響で予定されていた会議や研修会が中止、または延期になりました。また、市内の小中学校には避難してきた市民もいらっしやいまして、特に玉浦中学校には約60名が避難しました。学校ではエアコンのある部屋を開放し、落ち着くまで受け入れを行いました。この際、市の危機管理課職員の協力もあり、夕方には対応を終えることができました。

4点目、学力向上推進委員会の報告です。こちらは、前回の定例会で江里委員から御質問をいただいた件でもあります。会議では、子供たちの学びの変容について、教員だけでなく子供たち自身にもメタ認知させ、学力向上につなげていくことを目的とした取組を協議しました。その一環として、児童生徒へのアンケート調査を年2回実施し、学びの変容を確認していくことを決定しました。

5点目、全国学力・学習状況調査の結果についてです。結果速報が、7月14日に国から公表され、続いて8月5日に県からの速報も発表されました。これを受け、岩沼市の速報として取りまとめたものを、本日お配りしております。

まず、正答率・IRTスコアについては、小学校の正答率がやや低めでしたが、中学校では全国平均を上回る結果になりました。

資料2頁、3頁を御覧ください。国・県に倣い、箱ひげ図を活用し、平均値だけでなく得点のばらつきも把握できるようにしました。小学校では、国語と算数では得点のばらつきが全国より小さい傾向にある一方、理科では全国よりややばらつきが大きく、特に下位層の得点に国や県を下回る課題が見られました。中学校では、得点のばらつきは全国と比較してやや小さく、数学・理科、とりわけ理科において全国を大きく上回る結果が出ています。

資料4頁、5頁には全国平均を上回った問題、下回った問題を整理しています。今後、10月にかけて詳細な分析を進めます。

資料6頁には、「自立した学習者の育成を目指して」という観点から、授業や家庭学習、ICT機器の活用、発表活動などを分析しました。特にICT機器の活用については、非常に高い成果が示されています。後ほど資料を御覧いただき、御意見等いただければと思います。

学校教育課からは以上でございます。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

生涯学習課からは、夏休み期間の各種行事の報告でございます。

7月26日土曜日、夏休み文化財体験学習イベント「土器ドキメモリー」を開催し、親子12名の参加をいただきました。イベント2日前に、原遺跡から見つかったばかりの土器の洗いや土器修復体験、土器の拓本体験。また、今年は初めて文化財収蔵庫のバックヤードツアーも組み込みました。2年目の企画でしたが大変好評で、今後も地元の歴史や文化財を身近に興味を持ってもらう機

会や企画を計画してまいります。また、現在、第47回文化財企画展「終戦から80年 戦時下の岩沼地域と人々の暮らし」を図書館2階ふるさと展示室で10月19日まで開催しております。

7月28日月曜日、「岩沼市地域学校協働本部会議」を初めて開催しました。学校と地域が連携し協働する体制づくりを推進し、未来を担う子供たちの成長を支える活動の支援を行い、学校教育の更なる充実や地域学校協働活動の推進を目的として、まずは4小学校区ごと、地域連携担当の小中学校の先生方と地域の方々（育成会やPTA、のびやか教室コーディネーターや西・玉浦コミセン、家庭教育支援チーム、社教、こども家庭センターなどの方々）との顔合わせと、地域学校協働活動を行うにあたっての現状と課題など情報交換・情報共有を図りました。

8月1日金曜日、2日土曜日、3日日曜日の3日間、電子顕微鏡を直接体験する「ミクロの世界をのぞいてみよう」を実施し、24組62名と大変多くの御家族に御参加いただきました。その様子は8月16日の河北新報にも掲載していただきました。

8月15日金曜日と16日土曜日の2日間、仙台教育事務所管内ジュニア・リーダー中級研修会が実施されました。こちらは昨年から日帰りで仙台合同庁舎へ通う形の開催となり、本市からは5名のジュニアが参加しました。

最後に、今週末24日日曜日開催の仙台フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会「マイタウンコンサート in 岩沼」のチケットは、8月2日時点で売り切れとなりました。大ホール客席改修後初めての完売となりましたことを御報告いたします。

生涯学習課からは、以上となります。

及川教育長

部長、課長から事務報告がありましたが、内容について御質問等ありましたらお願いいたします。

山田委員

全国学力・学習状況調査のCBTにおいて、非常に良い結果が出ていると思われます。小学校ではまだ課題が残っている部分もありますが、中学校になると成果が現れているように感じます。とても良い傾向であり、今後も継続できるようによろしくお願いします。

及川教育長

小学校についても、また来年度に向けて改善を図っていきたいと考えております。

5番目の議事に入ります。議案第22号 岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和6年度実績）についてお諮りします。事務局より説明をお願いします。

遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

議案第22号につきましては、令和6年度実績に関する点検・評価を行った報告書の案でございます。

報告書の1頁に記載しているとおり、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第26条第1項の規定において、毎年、教育委員会における各種取組の執行に関して点検と評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。また、同条第2項の規定では、この点検と評価に当たっては、学識経験者の知見の活用を図るものとされており、本年もまた、元小学校校長の経歴をお持ちのお二人に御意見を頂戴したところです。

点検・評価の本質的な部分については、4頁以降の記載となりますが、令和6年度における市の3つの教育基本方針の教育目標ごとに各種取組の実施状況を取りまとめております。そして、その

3つの教育基本方針ごとの実施状況の最終頁に、教育委員会事務局において行った点検・評価の内容を記しておりまして、いずれも「概ね順調である」との判断をさせていただいております。

これに対し、20頁以降に、学識経験者として、柄澤一彦先生、昨年に引き続き、山内紀子先生から、御意見を頂戴したものを掲載させていただきました。お褒めいただいた部分もある一方で、取組のさらなる展開や発展、あるいは一層の充実を期待される部分もありましたが、基本的には、及第点をいただけているものと受け止めております。

この報告書については、冒頭にも申し上げましたが、市議会9月定例会に提出させていただくほか、ホームページ上で公表する運びとなっております。つきましては、内容に関して御審議を賜りますようお願いいたします。

及川教育長

ただいま部長から説明がありました。これについて御質問等はございますか。

各委員

(なし)

及川教育長

それでは、事前に資料を御覧いただいていると思いますので、お一人ずつ御意見をいただきたいと思います。最初に南館委員からお願いします。

南館職務代理者

全体として適切に評価していただいていると感じます。感謝申し上げます。

及川教育長

木村委員、お願いします。

木村委員

元校長先生の方々が岩沼市の事業を大変良く評価してくださっていることは嬉しいことです。それと同時に、今回報告があった、全国学力・学習状況調査結果の速報についても良かったと思います。教育というのはすぐに結果が出るものではなく、試行錯誤しながら時間をかけて少しずつ成果が表れていくものです。今回、結果に現れたということは、お褒めの言葉をいただいたことも含めて、評価できるものと思います。

及川教育長

山田委員、お願いします。

山田委員

全体として非常に丁寧に作成された素晴らしい点検・評価報告書であると思います。その上で、いくつか気付いた点を申し上げます。

まず、教育委員会が行ってきた事務事業の点検・評価として、法律に基づき適切に行われ、議会への報告やホームページでの公開もきちんと実施されています。例えば学校の自校評価では、学識経験者の意見は無いものの、児童・生徒や保護者の意見を取り入れて、次年度の施策に反映させています。教育委員会必携に「地域住民の声を反映するためにアンケートの実施も有力である」ということが書かれていることから、教育委員会の点検・評価においても、学校から市の教育方針に対する状況を探ってみることも良いかもしれません。難しいかもしれませんが当事者の意見を取り入れることも一案ではないかと感じました。

次に、5頁、6頁に「教務主任者会・研究主任者会で指示」と記載されていることに違和感があ

ります。中心的役割を担う職員ということは分かりますが、校長が学校経営の責任者ですので、「校長会議で指示」と記載し、「教務主任者会・研究主任者会」は必要なら併記すると良いように思います。

それから、7頁に講師の研修会1回、合同研修会1回と記載があります。お願いなのですが、講師に対する研修の機会をできるだけ提供していただきたいと思います。特に生徒指導や学習指導に関する講話を聞く機会を設けてほしいと思います。講師の中には、教員免許があっても採用試験に不合格であった人もいます。子供に直接かかわる立場であるため、研修を通じて力を高め、学校で育ててほしいと思います。可能でしたら、教育指導専門監に見ていただき、学校に言えない悩みなども聞いていただけたら良いように思います。

10頁にある「仙南けやき教室」については、利用する児童生徒と保護者にとって、けやき教室が白石という遠隔地にあり通学が不便であること、また、けやき教室の教育内容等は岩沼のケアハウスとほとんど同じであること、さらに費用対効果の面からも再検討が必要と考えます。年間84万円、10年間で840万円の負担となります。登校できず自宅にいる子供たちへの支援に振り向けることも検討すべきではないでしょうか。

11頁の外国語指導助手（ALT）の活用についてです。文部科学省の調査によれば中学3年生の英検3級以上取得率は全国で約52%、政府は27年度に6割にすることを掲げています。宮城県や本市もその水準には達していないものと思われます。啓蒙の意味で、例えば夏休み中にALTを活用した英検に関するレッスンを開催する事が有効ではないでしょうか。子供たちに少しでも興味を持ってもらえたらと思います。

及川教育長

学校教育課長からお願いします。

一丸参事兼学校教育課長

9頁中ほどに記載のある「個別の支援計画作成率100%」ということについて、本日欠席の江里委員から御指摘をいただきました。

個別の支援計画は、特別な支援を要する児童生徒について、学校が計画を作成し、保護者と共有しながら合意形成を図ることを目的としています。しかし、江里委員から「学校から個別の支援計画を示されていない保護者が複数いる」ということで、本当に学校と保護者の合意のもとで作成されているのか確認が必要ではないか、との御指摘をいただきました。これを受けて学校に確認したところ、ある学校では昨年度の夏に保護者から相談があり、担当者に確認した結果、計画が保護者に示されていなかったことが判明しました。そのため、校長が速やかに共有するよう指示を出したとのことでした。その他の学校については、すべての校長から「個別の支援計画を作成し、面談等を通じて保護者と共有している」との回答を得ております。このことから記載内容である「作成率100%」に変更はありませんが、今後も教育委員会として実態確認を継続し、必要に応じて学校に対する指導を徹底してまいります。なお、江里委員には私から直接連絡を差し上げ、説明申し上げる予定です。

及川教育長

御意見をいただき、ありがとうございました。委員の皆様からの御指摘、学識経験者の御意見は、今後の改善や施策に活かし、良い内容は継続できるようにしていきたいと思います。

他になければ、議案第22号について御承認いただいてよろしいでしょうか。

各委員

(了承)

及川教育長

ありがとうございます。議会に提出させていただきます。

6番目のその他に入ります。まず、事務局から連絡をお願いします。

遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

事務局から2点お知らせいたします。

1点目、令和8年度東北6県市町村教育委員会連合会第74回定期総会及び教育委員・教育長研修会の実施要領案が届きました。今年度は、7月に福島県いわき市で開催されましたが、来年度は岩手県盛岡市での開催になります。日程は、7月16日木曜日、17日金曜日の2日間です。現時点では日程のみ決定しており、内容は未定です。詳細が入り次第、改めて御連絡いたします。なお、県外開催となるため、予算との兼ね合いがありますが、予算要求はしてまいります。

2点目として、今後の教育委員会開催予定についてです。前回の会議で、次回は9月18日木曜日13時30分からと御案内しましたが、議会のスケジュールと重なる可能性があるため、時間を変更させていただきます。変更後の日程は、9月18日木曜日15時からといたします。御理解をお願いいたします。

また、第10回定例会は、10月16日木曜日13時30分からと考えております。この日程で調整可能か御確認いただければと思います。

及川教育長

ただ今の報告について、御質問等はございますか。定例会の日程についてはいかがでしょうか。

各委員

問題ありません。

及川教育長

ありがとうございます。委員の皆様から連絡等ございましたらお願いします。

山田委員

前は特別支援学級における教科書給与について、障害の程度や交流の有無、また教科ごとの状況に応じて教科書を給与しているという説明をいただきました。今回は、入学式、特に小学校の入学式における新1年生への教科書給与について、式次第に明記し、式の中で実施していただきたいという点を提案いたします。

今年4月に出席したある小学校の入学式において、式次第に教科書給与の項目が記載されていなかったため、式の進行中に急遽対応することとなり、教頭先生からも繰り返し謝辞がありました。個人的には、従来通り式次第に位置付けて実施した方が適切であると考えております。

小学校の入学式は、幼稚園の入園式とは異なり、義務教育9年間の始まりを告げる重要な儀式です。保護者には6歳から15歳までの就学義務が課される一方、国は義務教育の無償化を制度として保障しており、その具体的な仕組みの一つが教科書無償給与制度です。これは当然視されがちですが、海外の状況と比較すると制度の意義が鮮明になります。私事ですが、以前、アメリカの教育事情について視察したことがありました。アメリカでは義務教育は無償であるものの、教科書は貸与する形がとられており、当時はイギリスやフランスでも貸与の形であると話を聞きました。

小学校の入学式における教科書給与は、制度の意義を保護者に理解いただく機会としても大変重

要です。従来どおり式次第に組み込み、確実に実施していただくことを御検討いただきたいと思います。

及川教育長

ただいまの御提案につきましては、今後の検討課題として承ります。学校からも話を聞いて検討を進めたいと思います。ありがとうございました。

それでは、本日の議事は以上といたします。点検・評価報告書や全国学力・学習状況調査に関して、今後の参考になる御意見をありがとうございました。議会にしっかりと報告するとともに、今後の取組に活かしてまいりたいと思います。

以上を持ちまして、令和7年第8回岩沼市教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時20分閉会)

この会議録の作成者は、次のとおりである。

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和7年9月18日

会議録署名委員

南 館 公雄

会議録署名委員

山 田 孝元